

図書館かがわ

香川県立図書館報 第121号

Library Kagawa



発行日 2018.10.1

ISSN 1344-5464



読み聞かせ講座

絵本選び

おはなし会

読み聞かせ練習

感想&講評

「集まれ高校生！読み聞かせボランティアにチャレンジ！！」を開催しました。

県立図書館で、読み聞かせ講座を受講した高校生35名が、絵本の読み聞かせを行いました。

この事業は、高校生に図書館で絵本の読み聞かせを体験してもらうことで、将来図書館司書や保育士等になりたいと考えている高校生に対し、より深く将来の職業について考えるきっかけを提供するとともに、読書推進及び図書館の利用促進を図るために行ったものです。

8月7日の読み聞かせ講座では、読み聞かせの基本（絵本の選び方、持ち方、読み方など）を学びました。その後、各自で読みたい絵本を選び、県立図書館の司書からアドバイスを受けながら、読み聞かせの練習をしました。

8月9日と10日の2日間で合計8回のおはなし会を開催しました。子どもたちは、どのおはなし会も楽しんでくれているようでした。

高校生から「子どもが『おもしろかった』と言ってくれて嬉しかった。」「保育士を目指しているので参加した。良い経験になった。」「練習では緊張したけど、子どもたちの前では、笑顔で読めた。」などの感想がありました。

この経験を進路や職業の選択に活かしてもらえれば幸いです。

◆「香川県夏休み親子環境学習講座」を開催しました◆

8月1日(水)、視聴覚ホールなどで小学生親子が環境について学ぶ講座を香川県環境管理課と共催で開催しました。

午前中の「地球にやさしく暮らし隊」では、高橋瑞貴先生(樹木医)から、緑を取り入れた地球にやさしい暮らし方のお話を聞き、オリーブの苗を植えて、自分の箱庭を作りました。

また、「かがわの里海守り隊」では、藤田糸子先生(香川県浄化槽協会)にご指導いただき、水の汚れを調べる実験をして、自分たちの生活が海にどう影響しているか学びました。

午後の「いのちの森を守り隊」では、光村拓也先生(高松市立檀紙小学校教諭)に地域に根差した鎮守の森の役割と、自由研究・読書感想文のまとめ方を教えてもらいました。

どの講座も楽しみながら環境について学び、夏休みの宿題にも役立つ楽しい内容で、170名の親子が参加しました。県立図書館では、これからも子どもたちが図書館に親しむきっかけになる行事を行いますので、どうぞご参加ください。



地球にやさしく暮らし隊



かがわの里海守り隊



いのちの森を守り隊

レファレンス日誌から 第2回

連載再開



～「以前ここで見た本はどこ？」の巻～

「以前ここで見た本が探せなくて…」

こういうご質問がたまにあります。書名、著者名、出版社名、出版年は覚えてないけど、もう一度見たい。

最近あった「いろいろな国の言葉を一度に調べられる辞典が参考資料の語学の棚にあったけど、最近見当たらないんだ」というご質問。古くなって書庫に入れたのかも。「書名は覚えてないなあ。大きな辞典じゃなかったよ」

「多国語」、「5か国語」とかで検索しても出てきません。書庫で多国語の辞典(分類801.3)の所を探していくつかご紹介したところ、「これでいいです」とのことでした。

次は「以前ここで見た絵本が探せなくて」という親子連れのご質問。

書名に「いちにち」が入っている、ライオンや赤ちゃんなど12人(匹)がその日何をしていたか、を描いた絵本だそうです。

書名に「いちにち」が含まれる絵本は、120冊以上所蔵しています。登場人物から探せる索引もありますが、12人となると厳しい…。

まずはインターネットで「いちにち 絵本 ライオン 赤ちゃん」と検索。表示されたものを見ていくと、お話が違います。検索語に「12人」を加えると、『12にんのいちにち』がヒットしました。

表紙画像を見た親子連れが「これだ!」と指さした時の嬉しさは、今でも忘れられません。

<参考文献>

・『世界の物語・お話絵本登場人物索引』Dジャパン/編・刊 2017.5 (7230/D15/2-3)

・『12にんのいちにち』杉田比呂美/作 あすなろ書房 2014.6 (J/S326/15)

この本オススメです！

～オリーブ&ハマチ～

2018年は、小豆島でオリーブが植栽されて110周年、引田村（現在の東かがわ市引田）でハマチ養殖が事業化されて90周年の節目の年です。

オリーブオイルの需要が高まり、オリーブ栽培が全国各地に広がる中、優れた栽培・加工技術が、香川県のオリーブ生産量全国1位を支えています。

また、オリーブの葉の粉末を加えた餌で養殖した「オリーブハマチ」は、「奇跡の味」と称されるほど高品質な味わいで、養殖発祥の地、香川県ならではの特産品となっています。

今回は、節目の年を迎えた香川県の県花・県木のオリーブと県魚のハマチに関する本など3冊をご紹介します。



『育てて楽しむオリーブ栽培・利用加工』

柴田 英明／編（創森社）
2016.7（請求記号：K6256/S5）

オリーブは、育てる楽しみ、愛でる楽しみ、収穫する楽しみ、漬けたりオイルを採ったりして健康的な食材として味わう楽しみなど、多くの魅力を持っています。

本書では、香川県農業試験場小豆島オリーブ研究所主席研究員である著者が、オリーブ愛好家向けに、オリーブの栽培から食し方や手作りアートの作り方まで、分かりやすく解説しています。

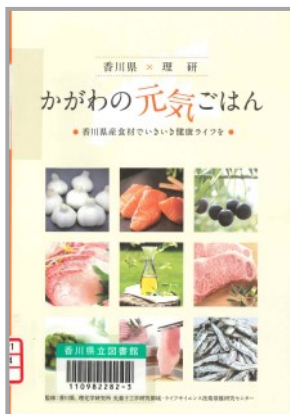


『香川県産「ハマチ」の話』

（さぬき海の幸販売促進協議会）
2013.8（請求記号：K6636/S1）

この冊子は、生態のほか、香川県の養殖の歴史や養殖漁場の特徴、栄養面の特色など、いろいろな視点で香川県産のハマチに迫ります。

私たち消費者のニーズに合わせて、「引田鱈」、「なおしまハマチ」それに「オリーブハマチ」といったオリジナルブランドでさらに磨きをかける香川県産のハマチについて、理解を深めるための基本となる情報ツールです。



『かがわの元気ごはん

香川県産食材でいきいき健康ライフを』
（香川県）
2017（請求記号：K6021/K24/4）

オリーブオイルを毎日30ml、4週間摂取し続けた人は、同量のサラダオイルを摂取した人に比べ、疲労の改善や肥満防止などに効果があったそうです。

この冊子では、香川県産オリーブの健康への効果についての最近の研究成果や、オリーブハマチはもとより、採油後のオリーブの果実を乾燥させた餌を与えたオリーブ牛、オリーブ豚など、香川県産食材を使った健康でおいしい料理のレシピを紹介しています。

●平成29年度 香川県立図書館の図書館評価を実施しました●

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施しました。

評価指標の数値目標の達成状況は、12項目のうち、評価A（数値目標の達成率100%）が6項目、評価B（数値目標の達成率80%以上100%未満）が6項目となりました。

詳細は、県立図書館ホームページに掲載しています。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数(冊)	1,032,000冊	1,034,601冊	100.3%	A
	② 郷土資料受入冊数	2,500冊	2,376冊	95.0%	B
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	487,000人	448,778人	92.2%	B
	④ 新規登録者数	4,800人	4,030人	84.0%	B
	⑤ 個人貸出冊数	950,000冊	909,422冊	95.7%	B
	⑥ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,200件	1,039件	86.6%	B
	⑦ 協力貸出冊数	7,700冊	7,121冊	92.5%	B
	⑧ 児童団体貸出・学校支援 文庫貸出冊数	6,300冊 〔団体2,800冊〕 〔学校3,500冊〕	7,488冊 〔団体3,048冊〕 〔学校4,440冊〕	118.9%	A
⑨ 来館者満足度	87%	93%	106.9%	A	
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	350,000件	420,515件	120.1%	A
	⑪ 展示等の実施回数	54回	63回	116.7%	A
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の開催回数	18回	21回	116.7%	A

評価A: 数値目標を達成した(達成率100%以上)

評価B: 数値目標を概ね達成した(達成率80%以上100%未満)

評価C: 数値目標を下回った(達成率80%未満)

●樋の工事のお知らせ●

県立図書館・文書館では、7月下旬から樋(とい)の改修工事を実施しています。工事の終了は12月上旬の予定です。工事期間中は、ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

日程(予定)	内容	注意事項
9月下旬から10月末まで	雨樋の修繕	
11月上旬から12月上旬まで	足場の解体	第1駐車場及びプロムナードが使用できない期間がありますので、詳しくは館内掲示やホームページなどで後日お知らせします。

※日程は、工事の進捗により前後することがあります。

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19(香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>